

にかほ市大会運営ボランティア募集

ねんりんピック秋田2017にかほ市実行委員会では、大会運営ボランティアを募集します。出場選手のおもてなし、会場設営や大会運営など、サッカー経験がない方でも、一緒ににかほ市をPRし、大会を盛り上げてくれる方を募集します。皆さんぜひご応募ください。

- ▶ **募集人員** 30人程度
- ▶ **募集期間** 5月15日(月)～6月30日(金)
- ▶ **活動場所** ・仁賀保グリーンフィールド
・TDK秋田総合スポーツセンター
- ▶ **活動内容** 受付・会場案内、おもてなし、弁当配布、環境美化ほか
- ▶ **応募・問合せ先** ねんりんピック秋田2017にかほ市実行委員会（にかほ市スポーツ振興課内）
〒018-0104 にかほ市象潟町字狐森7番地
☎ 33-8855 FAX 33-8856 メール：supotusinko@ciy.nikaho.lg.jp



第29回ながさき大会の様子（昨年10月）



ねんりんピックにかける想い

秋 田県で初開催の全国健康福祉祭ねんりんピック。今回、にかほ市でサッカー交流大会の開催にあたり、ねんりんピック秋田2017にかほ市実行委員会副会長として、また自身もサッカー交流大会に選手として出場予定のにかほ市サッカー協会会長佐藤一朗氏（院内）に、ねんりんピックにかける想いを伺いました。

ねんりんピック開催にあたり

30回目という節目の大会が秋田県で開催されること、また、サッカー競技がにかほ市で開催されることは、地元を全国に発信するためにもとても良い機会だと思います。地域の特徴や秋田県民らしい奥ゆかしさなどおもてなしの面も含めてPRしていきたいですね。初めて秋田を訪れる選手の皆さんにも、またにかほ市を訪れてみたいと思っていただければ嬉しい限りです。昨年の長崎大会では、佐賀代表と対戦しました。そのチームの主将は、41年前の佐賀

国体開催時にも主将をされていた佐久間さんという方で、試合中、私語は厳禁ですが、「40年前に試合をした事を覚えていますか？来年は、秋田県での開催ですね。楽しみにしています」と声を掛けていただきました。佐賀国体は、秋田県代表の選手として出場し準優勝した思い出深い大会であり、開催県代表の主将であった佐久間さんの事を私も覚えていました。会ったのは今回が2回目です。「ぜひ来年の秋田大会に来て欲しい」と伝えていきます。



ねんりんピックへの想いを語る市サッカー協会会長・佐藤一朗氏

地元での開催となりますが、この地域は昭和36年のまごころ国体と、平成19年のわか杉国体でサッカー競技が行われています。諸先輩方のためにも努力の積み重ねに感謝し、サッカーを出来る喜びを伝えていきたいです。また、過去のねんりんピック大会では、空港や試合会場、宿舎など要所所で温かいおもてなしを受けています。今度は私たちの番であると自覚して、訪れた選手や関係者の心に残る大会にしていきたいと思っています。

最後に、現在63歳、好きなサッカーを続けられているのは、諸先輩方や中学時代からの仲間である澁谷正秀さんや渡邊京一さんなどのメンバーがいるからだと思っています。にかほ市からも10人前後の選手が秋田県代表として出場を予定しています。市民の皆さまにも大会時の応援を含めて、大会が成功裏に終わることへの協力をお願いしたいと思います。

第30回 全国健康福祉祭 あきた大会

秋田からつながれ！つらなれ！長寿の輪

ねんりんピック秋田 2017

9月9日(土)～12日(火)

県内17市町村を会場に全26種目を9月9日から12日の4日間にわたって競い合う第30回全国健康福祉祭あきた大会・ねんりんピック秋田2017。にかほ市では秋田市と共催でサッカー交流大会が開催されます。

にかほ会場 開催概要

- ▶ **種目** サッカー交流大会
- ▶ **日程** 9月10日(日)～11日(月) 午前9時～午後4時30分
- ▶ **会場** 仁賀保グリーンフィールド、TDK秋田総合スポーツセンター



昨年10月、第29回ながさき大会総合開会式の様子

ね んりんピックの愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方々を中心とした健康と福祉の祭典です。昭和63年（1988）に、厚生省50周年を記念し、「第1回ひょうご大会」が開催されて以降、都道府県が持ち回りで開催しています。第30回を数える節目の大会は秋田県が主催となり、県内17市町村を会場に、さまざまなスポーツや文化などの多彩な交流イベントが開催されます。にかほ市では、仁賀保グリーンフィールド、TDK秋田総合スポーツセンターを会場に、9月10日(日)・11日(月)の2日間にわたってサッカー交流大会が開催されます。全国各地から32チーム延べ640人（予定）が参加し、本市からも秋田シニアサッカークラブチーム所属の選手が出場します。交流大会会場では「健康づくり教室」や訪れる方々を温かく迎え入れる「おもてなしコーナー」もあり、選手だけでなく、どなたでも無料で参加できますので、ぜひ会場にお越しください。